

2021年9月秋 超覚寺報 第48号 【ハーフ屈たごり】



- ◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)毎月28日 13時半～15時
9/28・10/28・11/26: フリーテーマの座談形式で開催しています。(28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日に開催)
- ◎ 死別の分 かちあいの集い: 13時～15時
・夫を亡くした方: 毎月第1土曜日(9/4・10/2・11/6・12/4)
・自死遺族の方: 每月最終土曜日(9/25・10/30・11/27)
当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。
- ◎ キヨガ: 毎月第2・4月曜日 10時30分～11時30分
初回1,500円(5回券6,500円)で、「広島市高齢者いきいき活動ポイント」対象です。お問い合わせは、下記宛にメールください。
« terayoga-hiroshima@vysyogi.com »

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年 秋季彼岸会の時期は お納めいただく方が多く
玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。
【ゆうちょ銀行 15190-5577060】
他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次のように入力してください。

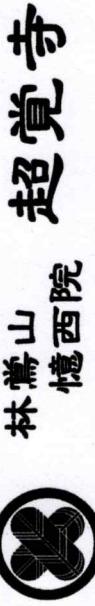
【名義】チヨウカクジ

【店名】五一ハ(読み ゴイチハチ)

【店番】518 (普通預金) 5577060

◇ 報告・連絡・“借”談

コロナ禍は收まりそうにありませんが、とりあえず私どももワクチン接種は2回済みました。心配していた副反応は、痛みも発熱も倦怠感も何もなく、ああもう若くはないんだなあと…。でもこれで感染の可能性が減ったのなら少しは安心して頂けます。遠方から広島市内へのお参りが不安な方は、私がそちらへ赴きますから、どうぞ遠慮なさらずご自宅での御法事をご依頼ください。発行人:超覚寺住職 釧隆恩(和田隆彦) (*—人) 合掌



淨土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鷲山 超覚寺
憶西院

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
[since 12月曆 2162, 西暦1619, 元和5]
〒730-0013 広島県広島市中区ハ丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113
Mail : wada@namuamidabutsu.com
HP : <http://www.namuamidabutsu.com>
<http://mytera.jp/tera/48chokakuji>

◇ “寺”後報告

今年のお盆はずっと雨で、御供のお花は持ちましたが、お参りにくかったです。でも来られた人数は例年以上に多くて、コロナ禍だからこそ御先祖との繋がりの大目に気づかされたのではないかでしょうか。



◇ 法要・法座実施の指針

- ・ 感染症対策は、お参りの方々自ら行ってください。もしマスクを忘れたなら配布します。消毒液は本堂やトイレに置いています。検温はご自宅にてお済ませください。
- ・ ご法事（御葬式や年回法要など）は、ご依頼頂いたものは全てお勤めします。オンラインでの法要やお墓参りもお受けします。ご自宅でも遠方でも大丈夫、私が走ってお勤めします。
- ・ 法座（彼岸会・盆法要・報恩講・勉強会など）は不要不急のものではないので、緊急事態宣言発令中でも中止にはしません。皆さん各々の判断にお任せしますので、感染対策のご協力をお願いいたします。

◇ 野良猫の保護活動について

最近、ハ丁堀界隈を野良猫が闊歩していて、拙寺境内も自由に出入りしています。通路に糞尿をすることも多く、不快な思いをされた方も多いと思います。それらの野良猫を保護すべくボランティアの方々が活動していて、拙寺も、お墓の隅にエサを置いて餌付けに協力しています。ある程度慣らしてから捕獲カゴを設置し、捕まえられたら去勢して犬猫保護のNPO法人に預けられるのです。

◇ なぜ他者を傷つけてはならないのか？

メンタリストDaiGo氏のYouTubeでの発言が、ホームレスや生活保護を受給している人々を差別し、排他的な暴力を助長すると問題になつた。コロナ禍が一向に収まらず、人間関係の分断が進み個人主義が幅を利かすようになつた現代社会が、図らずも垣間見えた瞬間だった。ではそもそも、なぜ他者を傷つけたり弱者を排除してはならないのか？この疑問に関しては、実は仏教は明確な答えを私たちに与えている。『心によってあらゆる方向を探し求めて、自分より愛しい者はどこにも見つかなかつた。他の人たちにしても同じである。皆それに自分が愛しいのだ。だからこそ、自己を愛する人は他者を害してはならない』い。（サンユツタ・ニカーヤ）』

自分ににとって自分より愛しい存在はない。これは他者にも当てはまり、誰にとっても同じことで自分が一番愛しいはず。だからこそ、自分を大切だと思うのであれば、同じように思っている他者も尊重しなければならないし、他者を排除してはならない。とてもシンプルで分かりやすい教えである。ここで大切なのは、仏教が他者への危害を認めず、他者を尊重しようとする理由は、「その他者に何らかの価値があるからではない」ということ。

お金持ちであろうが貧乏であろうが、税金をたくさん収めている人が、努力をしていいが、障がいがあるがなからうが、肌の色や出自や性別や職業や今置かれている状況がどうのようないでのであろうが、そのようなことは一切関係がない。ただただ、自分が一番大切なならば、「それを実現するために」他者のことも尊重しますようと言っているのだ。

ではどうして、他者を排除しないこと、尊重することが、自分を一番大切にすることにつながるのか。それは、逆に他者を傷つけてもいい、尊重しなくともいい、というような社会のあり方であるならば、そこでは自分自身もまた他者から尊重されざり、いつ攻撃の対象となつてもおかしく／＼

超覚寺 秋の法要 のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話をなっておりますこと、ありがとうございます。さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますが、**コロナウイルス対策をし、3密に充分に配慮しますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。**<(_-)>

◎ 2021年 秋季彼岸会(永代経)法要

9月23日(木・祝) 13時～ 勤行:住職

13時30分～15時30分 法話(休憩有)
瓜生崇師(滋賀県東近江市玄照寺)

瓜生先生は昨年一昨年に統いてお越し頂きます。
過去2回の御法話は拙寺のYouTubeチャンネル
にアップしておりますので、どうぞご覧ください。



◎ 2021年 報恩講法要

11月6日(土) 10時～ 勤行:住職(市内住職出仕予定)

10時30分～12時頃 法話(休憩有)
小山興圓師(愛知県安城市本證寺)

住職が学んだ「大谷専修学院」という僧侶養成所の
同期になります。今年も引き続き親鸞聖人のご生涯
を絵解きでお話頂く予定です。今回は、3密を避ける
ために、昼食(お齋)は無し、午前の部だけにします。



◇ 例年秋に開催されていた「**節談説教大会in広島**」は、コロナ禍で今年も中止になりました。毎回、広島西別院(中区寺町)が満席になるほど参集されるので、3密は避けられないと判断しました。

→ ないからだ。そのように「自分が大切だ」という思いを尊重し合う他には、人と人とがお互いに「自分が大切だ」という思いを尊重し合う他はないのだ。
『すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身をひきらべて、殺してはならぬ、殺させてはならぬ。(ダンマ・パダ)』
こちらのブッダの言葉は、人が人を殺めではない理由が端的に表されている。「己が身にひきくらべて」というのは、暴力の被害にあう側に自分の身を置いてみなさい、ということ。自分が最も愛おしくて暴力や死は怖いと思うならば、他者も同じように思っている。だから殺してはいけないし、殺させではないよ、と示されている。

私たちが生きる社会はとても複雑で、いろんな価値観があり、人それぞれ大切にしているものが異なる。だから、各々の価値観に「合う／合わない」ということが出てくるのは当然だし、自分にとって「必要／不必要」という判断に迫られることがある。全ての人と仲良くできれば良いが、「あちらを立てればこちらが立たず」というのも世の常である。しかし、仮に自分の都合に合わない人であっても、自分にとつて必要がないとか無関係だと感じる人であっても、他の命や存在に対して自分が勝手に優劣をつけ、自分にとって価値がないと判断したものには排除してもいい、と考えてしまうのは、やはり危険な考え方である。

そしてこれは、今の社会において、障害者や女性に対する暴力や差別として表出している考え方でもあり、今回のDaiGo氏一人に当たるところでは決してない。常に自分勝手な価値判断をして生きている私自身にとつても、決して無関係なことではないのだ。

様々な価値観がある複雑な社会を生きる私たち。だからこそ、今一度こうして仏教が示すシンプルで普遍的なところに立ち返って、「なぜ他人を傷つけではないのか」ということを考える必要がある。「世界全体が幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と作家の宮澤賢治は述べていたが、利己のためにも利他が大切だと気づいてほしい。

(彼岸寺 仏コラム 2021/8/20を加筆転載)